

埼玉県における自治体肝炎ウイルス検査の実態

研究分担者：内田 義人 埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科
研究協力者：宇野 明子 埼玉県保健医療部 疾病対策課

研究要旨：埼玉県における肝炎ウイルス検査の実績、初回精密検査、フォローアップ事業の実態について解析した。埼玉県での特定感染症検査等事業における医療機関委託検査は18000件/年の受検数が、令和2・3・4年度は維持されていたが、約2500件/年であった保健所検査は、令和2年度・令和3年度800件弱/年と激減したものの、令和4年度には1900件台、令和5年度は3500件台へ上昇がみられた。HCVの陽性率は1.0%から0.5%未満へ減少傾向であるが、HBVの陽性率は約0.7%前後で低下が止まっている。初回精密検査の申請は、令和2年度・令和3年度には妊婦健康検査、術前検査での陽性者からの申請を確認できたが、令和4年度・令和5年度は妊婦健康検査での陽性者からの申請件数が0件となっており、これら検査での陽性者が持続的に初回精密検査申請を実施する制度の確立が急務である。埼玉県と協力して「市町村担当者向け肝炎対策研修会」を開催し、母子保健領域における肝炎対策の重要性について再確認した。さらに、小児領域においても母親の受診勧奨の協力を要請していく方針であり、今後、妊婦健康検査陽性者における初回精密検査助成の申請数について注視していく予定である。陽性者のフォローアップ事業に関しては、令和5年度から本研究班で川崎市において実施・検証された受診未確認者の受診の有無に関して、検査実施期間へ問い合わせをする取り組みの水平展開を開始し、受診確認率は100%となった。今後は同取り組みを継続していく。

A. 研究目的

ウイルス性肝疾患の抗ウイルス療法として、B型慢性肝疾患はインターフェロンや核酸アナログ製剤、C型慢性肝疾患は直接作用型抗ウイルス薬（DAAs）の登場により、ウイルスの活動を低下ないし排除することで肝炎を沈静化させ、肝硬変への進展・肝細胞癌の発症を予防することが可能となった。これまでに多くの肝炎ウイルス陽性者が抗ウイルス療法を実施されているが、ウイルス陽性が判明しているものの、医療機関を受診していない症例も存在しており、これら未受検者の実態を把握することが課題である。

平成27年度より重症化予防事業に伴うフォローアップ事業が開始されている。埼玉県では、保健所検査と特定感染症検査等事業における医療機関委託検査の陽性者に対するフォローアップ事業を、肝疾患診療連携拠点病院である埼玉医科大学病院の肝疾患相談センターに委託し、埼玉医科大学病院の肝炎医療コーディネーターが陽性者フォローアップを行っている。

そこで、埼玉県における肝炎ウイルス検査の実績と、初回精密検査・フォローアップ事業の実態について解析した。

B. 研究方法

埼玉県における保健所検査と特定感染症検査等事業における医療機関委託検査、健康増進事業の受検者数、陽性者数の推移、令和2年度～令和5年度の陽性者における初回精密検査の申請状況を調査した。

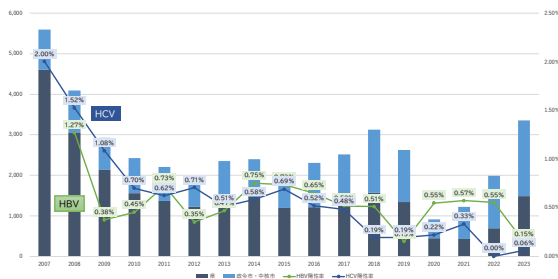
C. 研究結果

令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度の保健所検査の受検数は、各々2,603件、909件、1,204件、1,977件で、令和5年度は3,355件であった。陽性者数（率）は、HBVが4件（0.15%）、5件（0.55%）、7件（0.58%）、11件（0.56%）、5件（0.15%）でHCVは、5件（0.19%）、2件（0.26%）、4件（0.52%）、0件（0%）、2件（0.06%）であった。

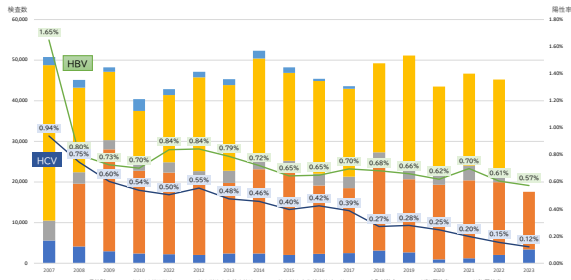
一方、医療機関委託検査の受検数は、令和元年度、令和2年度、令和3年度、令和4年度、令和5年度は18,052件、18,405件、19,137件、17,912件、14,241件で、陽性者数（率）はHBVが160件（0.89%）、138件（0.75%）、143件（0.75%）、129件（0.72%）、96件（0.67%）で、HCVは55件（0.30%）、42件（0.23%）、32件（0.17%）、29件（0.16%）、19件（0.13%）であった。

検査数は、保健所検査は令和2年度・3年度に著名に減少し、令和4年度は上昇、令和5年度はさらに上昇し、令和元年度と同等へ回復した。陽性率は、HCVは減少傾向であったが、HBVは保健所検査・委託医療機関検査ともに下げ止まり横ばいとなっている。

埼玉県の保健所検査実績と陽性率の推移

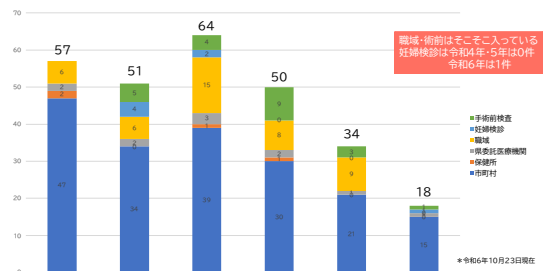


埼玉県の肝炎ウイルス検査実績と陽性率の推移



初回精密検査費用助成は、令和元年度は57件、令和2年度は51件、令和3年度は63件、令和4年度は50件、令和5年度は34件であり、特に妊婦検査は、0件、4件、2件、0件、0件、術前検査は、0件、5件、4件、9件、3件の申請であった。

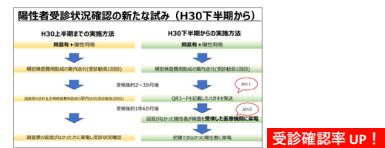
埼玉県における初回精密検査費用助成の成績



陽性者のフォローアップ事業は、令和5年度からは、本研究班で川崎市が有用性を報告している検査医療機関への架電方式を開始している。すなわち、受診の確認ができていない陽性者に関して、肝臓病相談センターから検査医療機関に架電し、受診の有無について聞き取りを行う方式を採用している。これにより、令和5年度のフォローアップ率はHBV・HCVともに100%（8/8、3/3）となった。

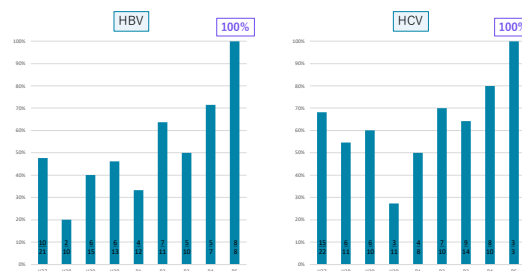
陽性者の受診確認率向上のための新たな試み

川崎市の取り組み



令和5年度から埼玉県においても、初回の調査票の回答のない陽性者に対して検査受検医療機関への電話問い合わせを開始。

陽性者フォローアップ事業：初回の受診確認率



D. 考察

埼玉県において、以前より保健所検査は約1,200件/年、特定感染症検査等事業における医療機関委託検査は18,000件/年で実施されていたが、令和2年度・令和3年度は保健所検査が著名に減少した。これはCOVID-19の流行により保健所の業務が切迫したことに起因す

ると考えられる。その一方で、令和4年度・令和5年度は保健所件数が1,977件、33,55件と上昇しており、「アフターコロナ」へ転換し、保健所の業務も通常へ戻っていると推測される。

陽性率に関しては、保健所検査・委託医療機関検査・健康増進事業のいずれにおいても、HCVは低下が持続し0%へと近づいているが、HBVは0.7%前後で下げ止まりであった。HCVに比して、HBVの低下がみられていけない理由を今後明らかにする必要がある。

令和2年度より初回精密検査助成の申請対象として、妊婦健康検査と術前検査での陽性者が追加となった。令和2年・令和3年度には妊婦健康検査・術前検査での陽性者からの申請を確認できたが、その数は極めて少なかった。令和4年度・令和5年度は妊婦健康検査での陽性者からの申請件数が0件となっており、これら検査での陽性者が効率的に初回精密検査申請を実施する制度の確立が急務である。埼玉県保健医療部疾病対策課と協力し、令和5年9月27日に「市町村担当者向け肝炎対策研修会」を開催し、同会において各市町村の母子保健担当者へも参加を促し、母子保健領域における肝炎対策の重要性について再確認した。今後、妊婦健康検査陽性者における初回精密検査助成の申請数について注視していく予定である。また、埼玉県においては、小児領域においても、母親の受診勧奨の協力を要請していく方針である。

令和5年度「市町村担当者向け肝炎対策研修会」開催要項

- 目的
肝炎に関する知識を習得するとともに、健康増進事業及び妊婦健康検査時の肝臓がん検出検査等への留意事項について学ぶ。
- 対象
県内各市町村において、健康増進事業を担う者及び母子保健を担当する者
- 日程
令和5年9月27日(水) 14:00～16:15
- 会場
さいたま市立会議場 2階ホール4 (さいたま市緑区緑道3-17-15)
- プログラム

時間	研修内容	講師
13:30～	受付開始	
14:00～	開会	
14:05～14:45	肝炎に関する最新動向について 講師 埼玉県立大附属 2階 奥人先生	
14:45～15:00	休憩	
15:00～15:30	「健康増進事業」の最新動向について 講師 埼玉県立保健医療研究所 2階 奥人先生	
15:30～16:00	「妊婦健康検査」の最新動向について 講師 さいたま市立保健所 2階 奥人先生	
16:00～16:15	閉会(アンケート記入)	

参加の市町村
さいたま市
川越市
比呂市
"高崎市(「健康増進」)
"高崎市(「健康づくり推進課」)
蕨市
鴻巣市
川口市
上野市
"蕨市(「感染症保健対策課」)
"蕨市(「健康づくり推進課」)
熊谷市
戸田市
北本市
蕨川市
久喜市
北本市
八潮市
三郷市
蓮田市
草加市
"さいたま市(「肝炎ウイルス検診」)
"ふじみ市(「妊婦健康診査」)
小川町
宮野町
榑戸町
宮代町
坂井町

陽性者のフォローアップ事業に関しては、令和5年度から本研究班で川崎市において実施・検証された受診未確認者の受診の有無に

関して、検査実施期間へ問い合わせをする取り組みの水平展開を開始し、受診確認率が飛躍的に上昇した。同取り組みを継続し、今後の受診確認率の向上の有無について引き続き注視していく予定である。

E. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

埼玉県肝相談センター室長として、埼玉県疾病対策課と連携し、肝炎撲滅対策に取り組んでいる。

F. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

堀口さやか, 内田義人, 須田幸子, 平野孝則, 持田 智 管理栄養士の肝炎コーディネーターによる肝硬変患者に対する入院中の栄養指導 肝臓65巻Suppl. 1

Page A269. 2024

3. その他

啓発活動

1. 内田義人 持田智 令和6年度 埼玉県肝炎医療研修会 企画・講演
主催 埼玉県 2024年11月4日

2. 内田義人 持田智 令和6年度 埼玉県肝炎医療コーディネーター養成研修会 企画・講演 主催 埼玉県 2024年11月4日

3. 内田義人 持田智 令和6年度 埼玉県肝炎医療コーディネーター研修会 (フォローアップ) 企画 主催 日本肝臓学会 2024年11月4日

4. 内田義人 持田智 令和6年度 埼玉県肝炎地域コーディネーター養成研修会 企画・講演 主催 埼玉県 2024年12月5日

5. 内田義人 令和6年度 坂戸保健所 難病
医療講演会 自己免疫性肝疾患を知ろう
日常生活で気を付けること
主催 坂戸保健所 2024年12月12日

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし